

学生と地域をつなぐ新たな取組に向けて

庄原市・広島みどり信用金庫・県立広島大学の代表者による 討論会を実施します

庄原市長，広島みどり信用金庫理事長，県立広島大学理事長・学長の三者が，学生の参画による地域のまちづくりや活性化に向け，学生と地域のつながりのあり方や課題を検討し，新たな取組に向けたディスカッションを行います。報道関係の皆様におかれましては，ぜひ当日のご取材をお願いいたします。

1 実施概要

- (1) 日 程 平成 27 年 3 月 2 日 (月) 15 時～16 時 30 分
- (2) 場 所 庄原グランドホテル 3 F 秋桜の間 (庄原市西本町 2 丁目 16-5)
- (3) 参加者 庄原市長 ^{きやま こうぞう} 木山 耕三，庄原市関係者 (5 名程度)
広島みどり信用金庫 理事長 ^{もりのぶ まさとし} 森 信 正敏，信用金庫関係者 (5 名程度)
県立広島大学 理事長・学長 ^{なかむら けんいち} 中村 健一，大学関係者 (5 名程度)
- (4) 司 会 県立広島大学 庄原地域連携センター長 ^{にしむら かずゆき} 西村 和之

2 本件の背景

近年，地域においては，街づくりや地域活性化への学生の参画が望まれています。

しかし，地域に関心のある学生はそれほど多くなく，また，学生が地域に関わるにあたっての課題が地域の人々に認知されていないため，地域の期待に学生が十分に答えることができていない状況が生じています。これらの問題を三者で共有し，今後どのような取り組みが実施できるかを検討します。

3 今後の展開

大学教育の一環としての地域貢献活動や，学生の緊急事態 (事故等) の対応，経費負担など，地域・企業と学生を結び付ける課題を明確にしたうえで，学生と地域・企業が結びつく場の設置や，学生の地域活動への参加を促進する方策を検討し，これらの結びつきを生み出しやすい環境の整備を図ります。

4 協定締結先との主な協定事業内容

県立広島大学と庄原市，広島みどり信用金庫は包括協定に基づき，事業や共同研究などを通じて，産学連携・地域連携を推進。

包括協定先	締結日 (平成・年・月・日)	協定に基づく事業内容例
庄原市	18・3・29	地域のまちづくり・人づくり，産業の振興，経済の発展，保健福祉向上，生涯学習・環境政策の推進に関すること等
広島みどり信用金庫	20・12・9	地域経済・地域企業の活性化，中小企業等の新規事業創出支援，技術相談・共同研究等に関すること等